

# 海事資料 FAX 短信

Vol.122 2007.5.15

(財)日本海事広報協会・海事情報部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580  
ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail [jo-ho@kaijipr.or.jp](mailto:jo-ho@kaijipr.or.jp)

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が、最近発行した機関誌や海事関係資料、海事団体のイベント情報などをご紹介します。機関誌や海事資料は、当会海事情報部で供覧しておりますので、ぜひご利用下さい。

## \* 機 関 誌 ・ 広 報 誌 \*

函館国際水産・海洋都市構想

**「国土交通」4月号** 運輸振興協会  
函館では、マリタイム(水産・海洋科学)で世界をリードしようと、平成15年、「函館国際水産・海洋都市構想」を策定、旧函館ドック跡地に「国際水産・海洋総合研究センター」の建設を計画、市内7カ所に「まちかどデジタル水族館」を設置など具体化へ。03-3221-8432

座談会 我が国の臨海部産業の動向

**「港湾」4月号** 日本港湾協会  
最近の臨海部産業を取り巻く諸情勢についての座談会。総合化学会社と建設機械会社の社員が出席。ユーザの視点から港湾インフラ整備に注文も。コンテナに偏らず、バルクや建設機械類を取扱い易い港湾づくりへの配慮も必要という。03-5549-9575

旅客船異常事態発生時の旅客への対応要領

**「旅船協ニュース」No.584** 日本旅客船協会  
同協会の安全対策検討委員会は、比較的長時間の航海をする旅客船で、万一異常事態が発生した場合、迅速・適切に対応できるようマニュアルを作成した。内容は、荒天時・荒天予想時の旅客への対応、事故時又は故障発生時の旅客への対応等。03-3501-6766

東京湾再生への取組

**「水路」第141号** 日本水路協会  
海上保安庁次長が座長を務める、東京湾再生推進会議は、快適な水遊びができ、多くの生物が生息する東京湾を取戻すため、汚水処理施設の整備、河川浄化、汚泥浚渫、浮遊ゴミ回収、生物に配慮した港湾構造物の整備等に取組む。03-3544-6100

**「Ship&OceanNewsletter」No.161** 海洋政策研究財団  
海洋基本法案が国会で可決成立 03-3502-1828  
**「マリナビ」Vol.88** 日本マリナビ協会  
海に学ぶ体験活動協議会 03-3222-3734

「海洋基本法案」国会で可決成立

**「海上保安新聞」4月12日号** 海上保安協会  
海洋の開発・利用と海洋環境の保全と調和など、国の海洋政策全般を包括する「海洋基本法案」と日本の排他的経済水域内のガス田開発の安全確保を目的とする「海洋構築物の安全水域設定に関する法案」が4月3日、衆院同20日参院で可決成立した。03-3297-7580

「観光立国推進基本法」と今後の日本の観光政策

**「観光」春号** 日本観光協会  
今年1月、「観光立国推進基本法」が施行された。観光を21世紀におけるわが国の重要な産業政策の柱として位置づけ、基本理念や国と地方の役割を明らかにし、施策の基本事項を定めて、観光に関する施策を総合的・計画的に推進しようとするのが狙い。03-5205-0250

外国船舶による海洋汚染等の状況

**「海上防災」No.133** 海上防災事業者協会  
海上保安庁が平成18年に我が国周辺海域で確認した外国船舶による海洋汚染の発生件数は56件(前年38件)。うち53件が油汚染。海域別では領海内が48件。船籍別では、パナマ17件、ロシア7件、アメリカ・カンボジア・ベリーズ各3件と続く。045-225-0263

造船固有技能の伝承と造船技能適合生産技術の研究

**「海と船のサイエンス」Spring** 海上技術安全研究所  
熟練技能者の大量退職、従業員の若年化、造船従事者の激減に対処するため、船舶産業におけるものづくり技術を科学的に解明した技能伝承手法の開発、技能伝承手法を応用した新しい生産システムの基盤技術の開発のための研究を実施。0422-41-3005

**「外医療ニュース」No.160** 外航船員医療事業団  
生活習慣病 03-5281-0591  
**「日本倉庫時報」第1158号** 日本倉庫協会  
国際倉連2007年次大会イベントで開催 03-3643-1221

「えきさい」No.274

歴代会長回想記

「人と船」第118号(最終号)

日本海技協会の解散に思う

「海法会誌」復巻第50号

海難事故時の船員の公正な処遇

日本海員抜済会

03-3541-4661

日本海技協会

03-3265-5125

日本海法会

03-3814-6861

「SRC News」No.71

スパー・エッジの開発・普及

「マリエンゴ」No.724

世界に誇れる海技力の育成とは？

「日造協」第392号

日本造船協力事業者団体連合会  
平和島競艇場で第109回理事会開催

日本造船技術センター

03-3253-6201

日本船舶機関士協会

03-3264-2518

03-5510-3161

## \* その他海事資料 \*

### 事故はこうして起こっている(プレジャーボート編)

(財)海難審判協会

近年、プレジャーボート(以下PB)を利用した水上レジャーは活発化の一途で、PB保有隻数や小型船舶操縦士免許の受有者も年々増えている。一方、海難全体が減少傾向にある中で、PB海難は増加。しかも、他の海難と比べ死亡・行方不明者の発生割合が著しく高い。

このため、PB利用に係わる安全対策を、より一層充実させていくことが国の施策として求められてお

り、平成14年船舶職員法の一部が改正された。

このような状況を踏まえ、同協会では平成11年度から同15年度にかけて「海難審判裁判先例研究会」を設置し、プレジャーボート海難の審判裁判について調査研究を行った。

本書は、事例毎(26の事例を掲載)に海難原因分析上の問題点を抽出し、再発防止の必要事項を提起。

例えば、海の交通ルールの箇所では、夜間、港内の航路内において、PB同士が航路の中央付近を行会う態勢で航行中、衝突した事例をあげている。

03-3512-8140

## \* 海のイベント情報 \*

### 神戸開港140年で「海の日」スペシャルイベントが7月16日に開催へ

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本発展を願う祝日「海の日」に、「Kobe Love Port・みなとまつり2007」の最終日イベントとして、スペシャルイベントが約1万名(入場無料)を集めて行われる。

イベントは概略、

遊覧船「コンチエルト」による「懇親パティー」、

「神戸開港140年記念式典」、

「スペシャルコンサート」、

「スペシャルコンサート」、からなる。

は全国の港湾関係者に神戸港を披露するもの。

は午後6時に始まり、冬柴鉄三国土交通大臣や井戸敏三兵庫県知事、矢田立郎神戸市長らが来賓として出席の予定。また、特別ゲストとして藤田まこと、池上季実子、嶋大輔、南野陽子、津川雅彦さんらを迎え、記念トークと「神戸開港140年宣言」が行われる。

続いて、「GSスペシャルコンサート」と題し、岡本信(ザ・ジャガーズ)、真木ひでと(オックス)、マモル・マヌー(ザ・ゴールデンカップス)、東ユースケ(レイズ)が出演。午後7時からは、「杉良太郎&伍代夏子 仲良き哉ふたりのコンサート」が行われる。詳細は、神戸港振興協会(電話078-327-8982)まで。

「FAX短信」についてのアンケートにご協力下さい。

ご回答はFAX番号03-3553-6580へお寄せ下さい。

<アンケート>

(1) FAX短信の記事を参考にされたことがありますか？

( )内のどちらかにに○を記入して下さい。 はい( ) いいえ( )

(2) どのような記事をFAX短信でとりあげて欲しいですか？

(3) その他、FAX短信についてご意見がありましたら下記に記入して下さい。

お問い合わせは・・・TEL 03-3552-5035 (財)日本海事広報協会・海事情報部まで